

町会報

えひめ

2013

9

Vol.54

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



砥部町「秋の砥部焼まつり」

好評の、窯元対面販売ですっかりおなじみになりました「秋の砥部焼まつり」。約60軒の窯元が軒を並べて、皆さまのお越しをお待ちしています。

今年度は、11月2日(土)・3日(日)で開催します。



Contents

四国四県町村長・議長大会	2～3
しまなみサイクリング大会	4
就任のごあいさつ	5
町からのお知らせ	5
随想 下野安彦内子町議会議長	6

全国町村長大会・議長大会のお知らせ	7
一筆	8
9月の行事	8
編集後記	8

四国四県町村会と同町村議会議長会は、9月24日(火)午後2時から高知市の「ザ クラウンパレス新阪急高知」で四国四県町村長・議長大会を高知県当番により開催した。これは四県の連携をより強化するための大会で、四国四県57町村から町村長及び議長ら約160人が出席し、盛大に開催された。



四国四県町村長・議長大会を開催 四国四県町村会・町村議会議長会

大会は、村田高知県町村議会議長会長の開会のことば、有岡高知県町村会長のあいさつがあった後、別掲の「宣言」を決定した。次いで来賓の尾崎高知県知事、森田高知県議会議長、藤原全国町村会長及び蓬全国町村議会議長会長の各来賓から懇篤な祝辞があった後に大会宣言を採択。

次に協議に入り、はじめに議長に關本愛媛県町村議会議長会長を選出。次いで提出議題の審議に入り、本県下野内子町議会議長が説明した「四国地方の交通基盤整備の促進及び本州四国連絡道路の通行料金等について」など5議案並びに、決議及び緊急決議を採択。また、昨年採択した「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録について「の共同アピールについては、引き続き国の関係省庁や国会議員へ行動を起こしていくことを決定。最後に、白石愛媛県町村会長の閉会の挨拶で閉会した。

次に「道州制の何が問題か」をテーマにシンポジウムに入り、まず、東京大学名誉教授の大森彌先生の「道州制基本法案について」と題する基調講演を聴講。引き続き「道州制と地方自治の将来について」をテーマとしてパネルディスカッションを開催。全国町村会の坂本調査室長をコーディネーター、大森先生をアドバイザーに、清水本県愛南町長をはじめ各県代表4名による活発な議論が展開された。

なお、パネルディスカッションの最後に、急遽「道州制に関する特別決議」が提出され、満場一致で決定された。

また、議事終了後に出席者全員による意見交換会が盛大に開催され、出席者の交流が図られた。



提案説明する下野本県内子町議会議長



大会議長をつとめる関本県議長会長

「道州制」に関する特別決議

現在、与党を中心として「道州制」の導入を想定した法案を提出しようとする動きがある。

「道州制」については、国の在り方を変える大きな問題であるにもかかわらず、平成の大合併の検証もなく国民的議論もなされていない。

また、「道州制」の実体について必要性や内容を含めて十分に明らかにされないまま「道州制」の導入への道筋が作られようとしている。

このような現状に、住民に最も身近な町村として強く懸念する。

そもそも、「道州制」の導入に伴って、市町村の再編を強いるようなことになれば、行政と住民の距離を更に遠くさせ、住民自治が衰退し、各町村で営々と積み重ねられてきた多様なまちづくりや自治は衰退の一途をたどり、ひいては国の崩壊につながる。

また、既存のインフラの整備水準や民間投資力に大きな格差がある中で「道州制」を導入して地域間の競争を煽れば、地域間格差はますます拡大し、住民の生活が脅かされる。

よって、我々、四国四県町村長及び町村議会議長は、「道州制」の導入には断固として反対する。

以上決議する。

平成25年9月24日

四国四県町村長・議長大会

提 出 議 題	説 明 者
1 南海トラフ巨大地震対策について	中田丑五郎 徳島県勝浦町長
2 米軍機による低空飛行訓練の即時中止について	〃
3 四国地方の交通基盤整備の促進及び本州四国連絡高速道路の通行料金等について	下野 安彦 愛媛県内子町議会議長
4 農林水産業の振興対策について	岩崎 憲郎 高知県大豊町長
5 地方財政と地方分権の推進・強化について	大岡 克三 香川県まんのう町議会議長



講演する大森彌東京大学名誉教授



閉会の言葉 白石本県町村会長



発言する清水本県愛南町長



パネルディスカッション

9 町長 しまなみを走る！

サイクリング プレ大会に向けPR

愛媛・広島両県が、平成26年3月に博覧会「瀬戸内しまのわ2014」を開催する。また、そのプレ大会「サイクリングしまなみ2013」が10月20日に開催されることになっている。

これに先立ち9月7日、中村知事の呼びかけにより「しまなみサイクリング大会」が開催され、県内首長や県議会議員、県職員ら約60人が参加した。参加者は、初心者向けにゆっくりのペースで走る「ポタリング」を楽しむコース（20km）、伯方島まで足をのばす45kmのコース、大三島を折り返す70kmの3コースに挑戦。しまなみ海道沿線を自転車で走りながら、眼下に広がる青い海に浮かぶ島々や大小の船がゆっくりと進んでいく様子など瀬戸内の素晴らしい景色を満喫した。

なお、県内9町からは全町長が参加。潮風を浴びながらゴールのサンライズ糸山を目指し快走した。

▶ 来島大橋



▶ スタートを前に9町長



就任のごあいさつ



県総務部管理局
市町振興課長
しのぶ
信夫
ひで
秀紀

八月一日付けをもちまして、総務省消防庁総務課課長補佐から異動し愛媛県総務部管理局长市町振興課長を拝命いたしました。総務省本庁、消防庁のほか、埼玉県、秋田県での勤務を経て、このたび本県で勤務することとなりました。県庁での勤務は三回目になりましたが、本県での町行政に携わるのは初めてのことでございますのでよろしく申し上げます。ちようと赴任後二ヶ月の時点ですが県内に多様な地域特性があるにもかかわらず、市町間、また、市町と県との団結力の強さ、距離感の近さを非常に印象的に感じております。

さて、東日本大震災発災直後から町村会の皆様方のご理解のもと、被災地への職員派遣等のご支援にご協力いただいておりますことにつきまして改めて感謝申し上げます。先日十月三日には宮城県亘理町長及び宮城県・福島県の担当職員が県庁を訪問され、本県及び市町による被災地への支援について感謝の意を示されるとともに、引き続き一層の人的支援を要請されております。

引き続き被災地の声を受け止め、愛媛県一体として一日も早い復旧・復興に尽力して参りたいと考えておりますので、一層のご支援・ご尽力をお願いいたします。

また、本県におきましては平成二十三年より全国でも先駆的な取組みとして、広域行政を担う県と住民に身近な行政組織である二十市町が連携し、知恵と工夫を持ち寄ることに より、二重行政の解消や連携した取組みによるプラス効果の創出、激しい地域間競争を勝ち抜くための行政の総合力の発揮をめざす「チーム愛媛」の取組みを進めております。この取組みもさらなる連携強化を

進め、離陸から上昇へと新たなステージを迎えることとなります。住民サービスのさらなる水準向上のため、これまでの取組みのさらなる充実、強化とともにプラサ効果の一層の創出のため努力して参りますが、もとより市町・県間の活発な議論やアイデアの交換を通じて初めて実現する取組みでありますので、引き続きのご協力をお願いしたいと考えております。

また、市町・県共通の課題である社会保険・税番号制度の導入に向けて、いよいよ本格的・具体的な作業が発生する段階を迎えつつあります。申すまでもなく同制度は、社会保障制度や税制の公平性・透明性の確保など、情報化社会の社会基盤として、国民の利便性の向上や行政の効率化を目的としており、まさに「国策」と言える重要な行政インフラであります。引き続き導入にかかる経費や制度の周知について国に訴えかけていくのはもちろんのこと、市町・県としても各種システム整備や特定個人情報報告の保護評価、独自利用に関する条例改正の検討など、タイトルなスケジュールの中、幅広い分野で対応を行わなければなりません。県としても全市町のご参加をいただきたい。情報提供やお互いに知恵を出し合うことにより、制度の円滑な導入や利用範囲の拡大の検討などにより住民サービスの向上を図ることとしております。

これらのほか、今後本県においては、全国有数の規模とスピードで進められてきた市町村合併による市町の広域化・多極化を通じた新たな財政需要や課題への対応や、先ごろ政府の方針が発表された消費税率の引き上げへの対応、ＴＰＰ交渉の影響への対応など市町・県の直面する課題は広範に及ぶとともに見通しの難しいものが多くなるものと想定されますが、皆様との意見交換などを通じしっかりと対応してまいりたいと考えておりますのでご指導のほどをよろしくお願い申し上げます。

町からの
お知らせ

松前町

◎ 第38回 まさき文化祭

10月26日(土)・27日(日)

松前町の文化、芸術・産業が一堂に集まる恒例のイベントです。松前総合文化センターを主会場に、町民文化活動の展示、芸能発表、地元商工会や各種団体が出店するバザー、姉妹都市である北海道松前町の物産展などが楽しめます。



●イベントゾーン（庁舎前駐車場）

10 / 26
オープニングセレモニー

ちんどん屋パフォーマンス

獅子舞競演会

010
627 ニスヘルライプ マシツクシ
7 まのえ 示を物産展、

10
2
2 ふるさとフエスタ

(伊予市・砥部町特産展)

●アートゾーン（松前総合文化センター）

チャレンジ・ザ・ゲーム

10/26・27 作品展示会、芸能発表会

●アミューズメントゾーン（松前公園）

フリマの祭典

10月26・27日 子ども作品展

●ふれあいゾーン（松前町総合福祉センター）

10/26 健康コーナー

サロ・ボンティアーナ

交通安全——九一

お問い合わせ／

社会教育課生涯學習係 ☎ 985-4135

随 想

「流行語にのせられて」

内子町議会議長 下 野 安 彦



今年もあつという間に一年が過ぎようとしています。年末に近づくと今年の新語・流行語大賞選考審査委員会によってトップテンと年間大賞が選定されます。

一年を振り返ってみると、NHK朝ドラ、あまちゃんで有名になった岩手県久慈市の驚きを表す方言「じえじえ」が今年の流行語大賞に輝くのでしょうか。または、東進ハイスクール林修先生のCMで有名になった「いつやるか？今でしょ」でしょうか。それとも、東京オリンピック誘致の決定打ともいわれる滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」でしょうか。自民党第二次安倍内閣において掲げた「アベノミクス」も候補にあがってくるのではないのでしょうか。

また、今年のニュースで日本人にとっての喜びは、東京オリンピック誘致ともう一つ、日本を象徴する富

士山が世界遺産に登録されたことではないでしょうか。

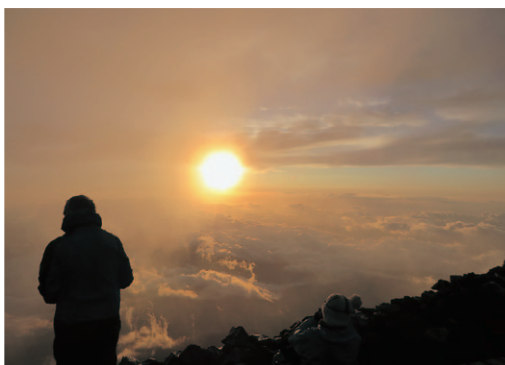
いつかは登ってみたいとは思っていた富士山でしたが、「まあ、噴火する訳でもないし」と、年月が経過していました。そこに「じゃあ、いつやるか、今でしょ」のCMであります。このメディアのおかげで「今年中に登るぞ」と、私の心に火がつけました。実行日は、登山客が少なくなる秋口の9月の1日、2日に決めて、足下から頭まで装備万端、山

小屋も予約をしました。しかし、直前に台風が発生、秋の台風の特徴通りに日本列島を縦断する予報にほぼ諦めました。公言していたので、「なんと運の悪い奴」と言われるだろうなと情けなく思っていたら、神様は最後に味方してくれ、登る一日前には温帯低気圧に変わり風も弱まりました。関東地方だけが晴れマークになり、青空を仰ぎながら登山を開始し、夜明け前に小雨が降りましたが、

登頂と同時に見事なご来光を眺める事ができました。

普段、メディアや流行に流されず我が道を歩もうと思っている自分ですが、今回はこのメディアのお陰で素晴らしい体験をすることができました。

最後に、東京オリンピックとアベノミクスによる経済効果が、「倍返し」になって愛媛に波及してくれることを念じてペンを置きます。



▶富士山頂から見るご来光



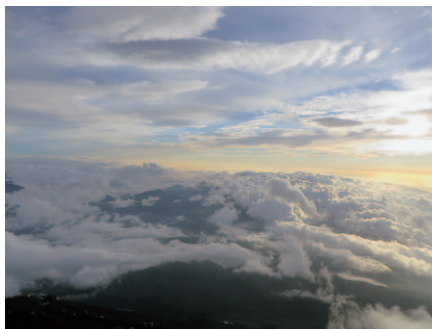
▲石段を登って山小屋到着



▶六合目から山頂を見る



▲青空と多数の外国人登山客



▲下山途中から見る雲海

第57回町村議会議長全国大会開催要綱

1. 目 的
全国の町村議会の総意を結集し、我々町村議会議員が一貫して築き上げてきた地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期するため。
2. 名 称 第57回町村議会議長全国大会
3. 日 時 平成25年11月13日（水）
開会 正午（閉会 午後3時00分予定）
4. 場 所 NHKホール
東京都渋谷区神南2-2-1
5. 来 賓
(1) 祝辞依頼者
政府代表、衆議院議長、参議院議長、
自由民主党代表、全国町村会長
(2) 臨席案内者 衆参両院議員
6. 出席者 町村議会議長等
7. 大会次第
(1) 開会のことば
(2) 国歌斉唱
(3) 会長あいさつ
(4) 宣 言
(5) 来賓祝辞
(6) 来賓紹介
(7) 議長閉選出
(8) 議 事 1) 要 望
2) 決 議
3) 特別決議
4) 実行運動方法協議
(9) ガンバローコール
(10) 閉会のことば
8. 特別講演

全国町村長大会開催要綱

1. 名 称 全国町村長大会
2. 目 的
町村長の総意を結集して、農山村の持つ多面的な価値の重要性を訴えるとともに、それぞれの町村が地域の特性や資源を活かした施策を自主的・自立的に展開できるよう、多様で個性溢れる町村の実現を目指す。
3. 日 時 平成25年11月20日(木)
開場：午前11時
開会：正午、閉会：午後2時（予定）
4. 会 場 NHKホール
東京都渋谷区神南2-2-1
電話03(3465)1751（代表）
5. 出席者 (1) 全国の町村長
(2) 都道府県及び郡（地区）町村会の事務局長等
6. 来 賓 (1) 挨拶要請者 政府・国会・与党代表、
全国町村議会議長会長
衆参両院議員
(2) 出席要請者 衆参両院議員
7. 次 第 (1) 開 会
(2) 国歌斉唱
(3) 全国町村会長挨拶
(4) 来賓挨拶
(5) 町村へのメッセージ（仮題）
(6) 議 事
① 決 議
② 要 望
③ 実行運動方法
(7) 閉 会
8. その他
都道府県別の座席は、大会座席割当基準により別途決定するものとする。

お知らせ

全国町村長大会・議長大会

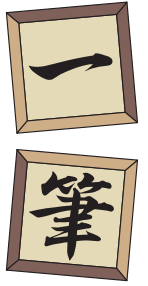
NHKホールで開催

全国町村会と全国町村議会議長会は、個性豊かな町村の実現を目指すため、左記のとおり全国大会を開催することとしている。

平成25年度全国町村長大会前後の関係団体大会・会議等予定一覧表（第4報）

平成25年9月27日現在 全国町村会行政部調べ

月 日	時間	大 会 ・ 会 議 等	会 場	電 話	主 催 者	電 話
①10月25日(金)	10:30	全国町村会正副会長会	全国町村会館	03-3581-0471	全国町村会（総務部）	03-3581-0482
②10月25日(金)	13:00	全国町村会理事会（都道府県町村会会長会議）、政務調査会	全国町村会館	03-3581-0471	全国町村会（行政部）	03-3581-0483
③11月13日(水)	12:00	第57回町村議会議長	全国大会NHKホール	03-3465-1751	全国町村議会議長会	03-3264-8182
④11月15日(金)	13:00	全国過疎地域自立促進連盟第44回定期総会	メルパルク東京	03-3459-5501	全国過疎地域自立促進連盟	03-3580-3070
⑤11月18日(月)	14:00	ダム・発電関係市町村全国協議会理事会	全国町村会館	03-3581-0471	ダム・発電関係市町村全国協議会	03-3581-0485
⑥11月18日(月)	15:00	離島振興60周年記念式典	グランドアーク半蔵門	03-3288-0111	全国離島振興協議会	03-3591-1151
⑦11月19日(火)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館別館	03-3261-8386	全国治水砂防協会	03-3261-8386
⑧11月19日(火)	13:30	全国町村会正副会長会	全国町村会館	03-3581-0471	全国町村会（総務部）	03-3581-0482
⑨11月19日(火)	14:30	全国町村会理事会（都道府県町村会会長会議）	全国町村会館	03-3581-0471	全国町村会（総務部）	03-3581-0482
★11月20日(水)	12:00	全国町村長大会	NHKホール	03-3465-1751	全国町村会（行政部）	03-3581-0483
⑩11月21日(木)	10:00	水産業振興・漁村活性化推進大会、定期総会	全国町村会館	03-3581-0471	全国市町村水産業振興対策協議会	03-3581-0485
⑪11月21日(木)	10:00	第58回簡易水道整備促進全国大会	砂防会館別館	03-3261-8386	全国簡易水道協議会	03-3581-3751
⑫11月21日(木)	10:30	全国山村振興連盟通常総会	グランドアーク半蔵門	03-3288-0111	全国山村振興連盟	03-3581-7527
⑬11月21日(木)	13:00	全国浄化槽推進市町村協議会通常総会	グランドヒル市ヶ谷	03-3268-0111	全国浄化槽推進市町村協議会	03-3635-4888
⑭11月21日(木)	13:30	国保制度改善強化全国大会	日比谷公会堂	03-3591-6388	国民健康保険中央会	03-3581-6821
⑮11月21日(木)	14:00	全国観光地所在町村協議会総会	全国町村会館	03-3581-0471	全国観光地所在町村協議会	03-3581-0484
⑯11月22日(金)	10:30	半島振興対策促進大会	全国町村会館	03-3581-0471	全国半島振興市町村協議会 他	03-3581-0484
⑰11月28日(木)	13:30	安全・安心の道づくりを求める全国大会	日比谷公会堂	03-3591-6388	全国道路利用者会議 道路整備促進期成同盟会全国協議会 全国高速道路建設協議会 全国街路事業促進協議会	03-3501-5611 03-3234-1707 03-5212-9147 03-5320-5247
⑱11月29日(金)	14:00	治水事業促進全国大会	砂防会館別館	03-3261-8386	全国治水期成同盟会連合会	03-3222-6663



慎ましい幸せ

暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったものである。今夏は記録破りの猛暑、9月に入るも夏日は続き、もう秋は来ないのではと想わせたが、やっと、朝夕涼しさを感じさせ、秋の虫達の鳴き声も聞こえるようになった。

食の秋には、『秋の茄子び嫁に食わすな』(諸解あり)があるが、これから茄子が美味しい時季になる。

9月16日は「敬老の日」。我が国の65歳以上の高齢者は、今年の人口推計(総務省9月15日付け)によると3186万人(23年前は1489万人)と総人口の25%を占め、4人に1人が高齢者となる。因みに70歳以上は総人口の18・2%。75歳以上は12・3%。80歳以上は7・3%の930万人(6年前は730万人)。フランスは、126年かけてゆっくり走り高齢社会へ。日本は、足早と云うよりも超特急の24年程で高齢社会を迎えた。

紛れも無く我が国は、高齢化の先進国、類似傾向にある諸外国の先達となった。古今東西不老長寿を求めて来た人間社会の生きる様を表現しなければならぬ時代に至ったのである。

今は、平均寿命より健康寿命を強く云われる。自分の事は自分で出来る事。ただ、自身が好まざると好まなくてもそのような条件を自分で確

保する事は出来ない、天命が前提にある。

「長寿の価値は、長く生きることではなく、その間を活用することにある。」『社会と繋がりを持つ事が大事。』『今、高齢者の「終活」こそが大事。』『孫や子に囲まれて幸福ではない』『高齢者にとって管で生かされる事が幸せかどうか。自分で考える必要がある』『65歳から70歳は、自分で考え決めて来た。80歳以上は高度経済成長を味わい。社会、個人を生きて来た。』など等、「敬老の日」に、高齢者の思いは幅広い。

一方、急速な高齢化社会によって、医療関係、年金支給等については「敬老」とは裏腹に極めて厳しい環境になった。勿論、経済の安定なり成長は必須条件である事は、云うまでもないが、24年超特急とは云うものの「階段の推移」は順当であって、老いに中跳びなどはなかったはず。成るべくして成った移行結果である。

他の分野も同様であるが、その場限りの計画算式では、その実践の先に大きな落とし穴があり、収拾に何十年もかかる想定外では済まされないものとなる。先々を見て、一人よがりにならないように最善の計算式を検算し、実践せねばなるまい。万事起こってからでは、間に合わない。

高齢者の諸氏は「慎ましい幸せ」(茄子の花言葉)で満足の敬老…。

(T)

「人生の本当の喜びは、

諸君より劣った連中と

一緒に生活することだ」

(サツカレイ 英国の小説家)

9月の会と催し

- ▽4日〓都道府県災害共済支部主任者会議
- ▽5日〓全国町村会正副会長会、(一般)全国自治協合理事会、全国町村職員生活協同組合理事会、全国町村会理事會・都道府県会長会、同政務調査会財政委員会、同政策調整会議、全国簡易水道協議会平成25年度第2回理事会並びに第1回事務局長会議〓要望活動
- ▽6日〓〔公財〕愛媛県市町振興協会運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査
- ▽9日〓四国圏広域地方計画協議会幹事会、平成25年度過疎担当職員研修会(10日まで)
- ▽10日〓災害共済関係事業等加入推進及び火災予防運動等関係事務打合せ(11日まで)、中央教育審議会教育制度分科会(第32回)
- ▽13日〓平成25年度消防団員等公務災害防止研修会
- ▽18日〓公益法人会計研修会
- ▽19日〓都道府県退職手当組合職員研修会(20日まで)
- ▽20日〓過疎対策関係施策に関する要望の実行活動
- ▽24日〓平成25年度四国四県町村長・議長大会運営協議会、平成25年度四国四県町村長・議長大会
- ▽26日〓中央教育審議会教育制度分科会(第33回)、全国市町村水産業振興対策協議会常任理事会及び理事会〓実行運動、野村證券資産運

用セミナー

- ▽27日〓愛媛県農業会議9月定例常任会議員会議、自治労連愛媛県本部との交渉、「町イチ!村イチ!2014」出展社説明会
- ▽30日〓地方分権有識者会議

編集後記

明日から10月、神無月。これから秋が深まり、あちらこちらから紅葉の便りが聞こえてくるでしょう。山々を彩る紅葉の美しさは、じっとして見られないほど心がかきたてられます。今年はどこを訪ねてみようか。

なにかで読んだのですが、外国の子供は山を茶色に塗るそうです。でも、日本の子供は緑色に塗ります。つまり、わが国は、それだけ豊かな森や水に恵まれているということなんです。有難いことです。私たちは、もっと身近にある山々や森を大切にしなければいけないと思います。

富士山が世界遺産に登録されました。下野内子町議長さんは、この夏に登頂されたようですね。うらやましいけど、今の僕には体力的に無理。そういえば思い出しました。若いころ、富士山の観光登山に行った友人から「富士6合目 俺もなんとか6合目」と書いた絵葉書をもたらったことを。嗚呼、歳月はまぶしかりけり。

よし、今夜はぬる燗6合に挑戦してみるか。